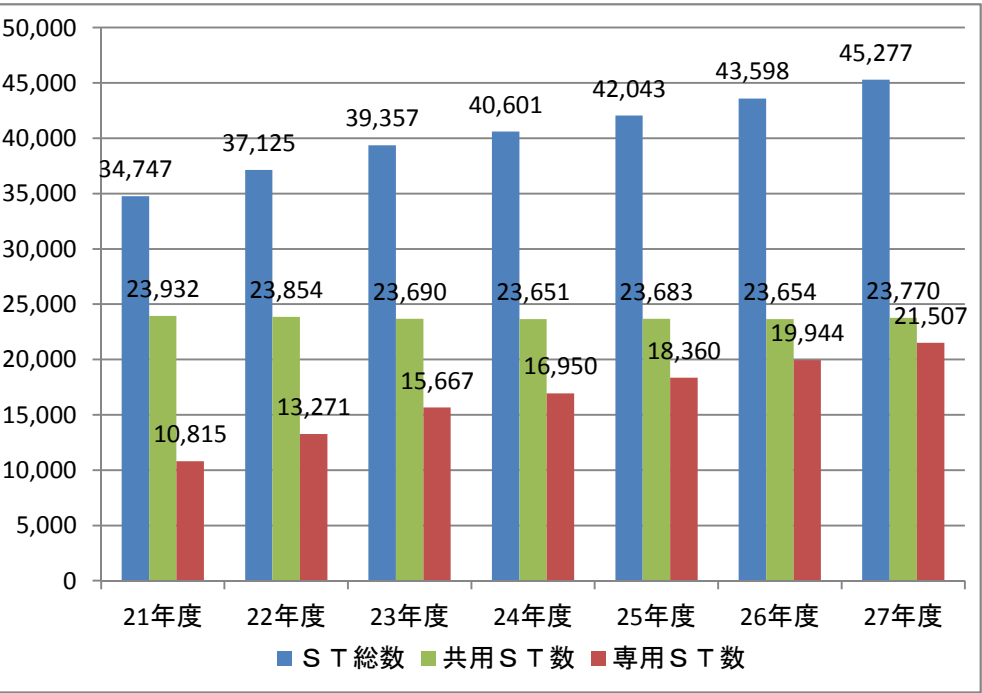


札幌市のごみステーション数・共同住宅むね数等

1 ごみステーション数の推移等

● ごみステーション数の年度別推移

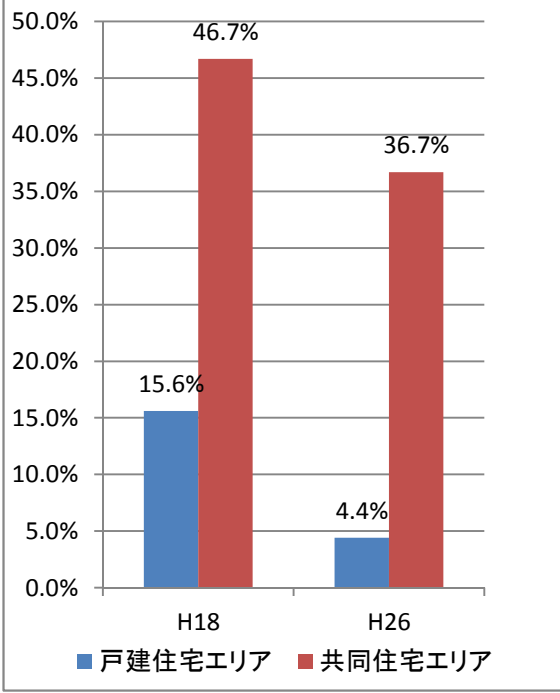


※ 各年度4月1日のステーション数

共同住宅の専用ごみステーションが増加
(6年間で10,000か所以上)

一方で、道路上等の共用ごみステーションはほぼ横ばい(微減)

● 不適正排出(違反排出)ごみステーションの割合



※ 札幌市実施の調査による。

「新ごみルール」後、不適正排出自体は減っているが、共同住宅エリアでは依然として多い。

2 区別の共同住宅むね数及び専用ごみステーション数

● 区別の共同住宅棟数及び専用ごみステーション数

区分	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	計
共同住宅むね数	6,530	6,930	9,230	8,310	1,990	7,310	1,610	2,750	5,700	2,300	52,660
専用ST数	5,173	2,680	2,037	3,444	1,211	3,089	379	876	1,981	637	21,507
設置割合	79.2%	38.7%	22.1%	41.4%	60.9%	42.3%	23.5%	31.9%	34.8%	27.7%	40.8%

※ 総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成25年10月1日現在)による(ただし、一部、総数と内訳が一致しない。)

※ ごみステーション数は、平成27年4月現在の箇所数

約4割の共同住宅が専用ステーションを設置しているが、未設置の共同住宅が約3万棟
⇒今後も専用化が進むと見込まれる

